

施設等利用費請求書の記入例（預かり保育）

請求書を作成する際は、お手元に次の書類を用意してください。

- ☐ 子育てのための施設等利用給付認定通知書
- ☐ 特定子ども・子育て支援領収証兼提供証明書（請求月分）



- ※ 油性ボールペンなど容易に消えないもので記入してください。
（鉛筆、シャープペンシル及び摩擦熱でインクが消えるペンは使用しないでください。）
- ※ 訂正がある場合は二重線で訂正してください。
ただし、裏面の請求額については、訂正できません。

（表面） ※使用する請求書の様式を確認してください。

① 請求日 令和×年 7 月 × 日	
日立市長 殿 施設等利用費請求書（償還払い用） 幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費	
② 【令和×年4月～ 令和×年6月分請求用】	
「子育てのための施設等利用給付認定通知書」に記載された保護者名（認定保護者）と一致していることを確認してください。	
認定種別（※）及び認定番号は「子育てのための施設等利用給付認定通知書」で確認してください。 ※ 教育・保育認定とは異なります。 ※ 第2号：3歳児～5歳児 ※ 第3号：0歳児～満3歳児	
1. 施設等利用給付認定保護者（申請者） フリガナ ヒタチ ノボル 氏 名 日立 昇 ※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です	認定子どもとの続柄 父 〒 317-8601 現住所 日立市助川町1-1-1 電話 0294-22-3111
2. 認定子ども（認定子どもごとに申請して下さい） 第30条の4の認定種別 ☒ 第2号 ☐ 第3号 認定番号 1000000500 生年月日 平成 2× 年 9 月 1 日 フリガナ ヒタチ ウミ 年 月 日～ 年 月 日の間の住所 氏 名 日立 海 ☒ 現住所のとおり ☐ 転入した ☐ 転出した 上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入 年 月 日	
3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入 フリガナ フクジンサンヨウチエン 所在地 施設名称 風神SUN幼稚園 (市外の場合のみ記入) 電話： 年 月 日～ 年 月 日の間の在籍状況 ☒ 期間中在籍 ☐ 途中入園した ☐ 途中退園した 上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入 年 月 日	
4. 償還払いの振込先を記入して下さい（※1） 金融機関名 銀行 信用金庫 日立 預金種目 ☒ 普通 ☐ 当座 口座番号 0 1 2 3 4 5 6 出振所 口座名義（カタカナ） ヒタチ ノボル	
※1 申請者名義の口座情報を記入してください。	

【請求書記入方法】

- ① 請求日を記入してください。
（提出する日にちで構いません。）
- ② 請求する分の最初の月と最後の月を記入してください。
（最大3か月）
- ③ 申請者（認定を申請した保護者）の氏名、続柄、郵便番号、住所、日中連絡の取れる電話番号を記入してください。
- ④ 認定を受けているお子さんの認定種別、認定番号、生年月日、氏名を記入し、請求する期間の住所の状況をチェックしてください。
- ⑤ 在籍園の名称を記入し、請求する期間の在籍状況をチェックしてください。
- ⑥ 振込を希望する口座の金融機関名、支店名、預金種目、口座番号、口座名義（カタカナ）を記載してください。

③で記入した申請者と同一の名義か確認してください

<裏面も記入して下さい>

(裏面)

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※2)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

①	フリガナ 施設・事業名	所在地	電話
	フリガナ		

⑥	フリガナ 施設・事業名	所在地	電話
	フリガナ		

※2 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみです。

在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	①	②	③	④	⑤	⑥
	施設に支払った金額(a) ※4	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を(c)	認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4	請求額 ※5 (「c+d」) 月額上限額の方を記入
R×年 4月	13,000円	20日	9,000円	9,000円	0円	9,000円
R×年 5月	4,000円	8日	3,600円	3,600円	0円	3,600円
R×年 6月	5,000円	12日	5,400円	5,000円	0円	5,000円

※3 認可外保育施設等に支払った金額(a)は、施設の利用時間数によって、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみ記入が可能です。

※4 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する領収証(口座振替の場合は通帳コピー等の確認ができる書類等)と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付して下さい。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。

⑦ 請求額を算出し、記入します。
(領収証兼提供証明書を元に算出します。)

① 利用年月

請求する年月を記入してください。

② 施設に支払った金額(a)

「領収証兼提供証明書」に記載されている「利用料(保育料)」の金額を記入します。

③ 利用日数

「領収証兼提供証明書」に記載されている預かり保育事業の提供日数を記入します。

④ 対象額(b)

利用日数に450円を掛けて、無償化の対象額を算出し、記入します。

【例】4月分:450円×20日=9,000円

⑤ aとbの金額の低い方を記入(c)

施設に支払った金額(a)と無償化の対象額(b)を比較し、低い金額を記入します。

【例】4月分:(a)13,000円>(b)9,000円

よって、(b)9,000円を記入

⑥ 請求額

(c)の金額と無償化の月額上限額を比較して、低い方を記入します。

【無償化の月額上限額】

第2号(3歳児～5歳児):11,300円

第3号(0歳児～満3歳児):16,300円

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	施設に支払った金額(a) ※4	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を(c)	認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4	請求額 ※5 (「c+d」) 月額上限額の低い方を記入
R×年 4月	13,000円	20日	9,000円	9,000円	0円	9,000円
R×年 5月	4,000円	8日	3,600円	3,600円	0円	3,600円
R×年 6月	5,000円	12日	5,400円	5,000円	0円	5,000円

請求額を誤って記入した場合は、
訂正印を押印いただいても、受付が出来ません。
書類の作り直しになってしまいますので、ご注意ください。

特定子ども・子育て支援領収証兼提供証明書

(令和×年 4月分)

認定保護者	フリガナ	ヒタチ ノボル	認定子ども との関係	認定子ども	フリガナ	ヒタチ ウミ	法第30条の4の認定種別
氏名	日立 昇	父	認定子ども	氏名	日立 海		☐ 第1号 ☒ 第2号 ☐ 第3号

(以下の記載は、「支援の内容」、「提供した日(提供日数)」、「提供時間帯」、「費用」がわかる書類の添付をもって替えることも可能)

特定子ども・子育て支援の内容 (注) □にしを記入	提供した日(提供日数) ※1	提供時間帯 ※2	利用料(保育料)	利用料以外の費用 ※3
☐ 幼児教育(認定こども園・幼稚園・特別支援学校)	日～日	:～:	円	円
☐ 認可外保育施設	日～日	:～:	円	円
☒ 預かり保育事業	1日～30日(20日)	13:00～15:00	13,000円	500円
☐ 一時預かり事業	日～日	:～:	円	円
☐ 病児保育事業	日～日	:～:	円	円
☐ 子育て援助活動支援事業	～	～		

利用料以外の費用は、
無償化の対象外です。

提供した日(提供日数)を請求書
裏面6「利用日数」に記入します。

利用料(保育料)を請求書裏面6「施設に
支払った金額(a)」に記入します。

※1 提供日数は、預かり保育事業のみ記入
※2 提供時間帯は、標準的な利用時間帯
※3 利用料以外の費用は、日用品、文房具

上記のとおり特定子ども・子育て支援利用料等を領収しました。
また、認定子どもに対し、特定子ども・子育て支援を提供したことを証明します。

令和×年 5月 1日

設置者名称	学校法人 風の神学園
主たる事務所の所在地	日立市〇〇町*-*-*
代表者職氏名	風神 山
施設・事業所の名称	風神SUN幼稚園